



令和2年度

# 学校だより

伸びよう 豊かに たくましく ~学ぶ喜びにあふれた学校をめざして~

令和2年5月11日

横浜市立高田小学校

## 5月号

## 今、できること

校長 赤坂 桂

緊急事態宣言が全国に拡大し、感染者がいまだ減少に向かう傾向にないようです。学校再開についても先行きが見えない状況にあり、子供たちには我慢と辛い思いをさせていることを残念に思います。今、新型コロナウイルス感染症に対して、私たちは最善の注意を払い、自分自身が感染者であることも想定して「家族や周りの人の命に危機感をもつ」ことが大切です。辛いですが、もう少しがんばりましょう。

家にいることが多くなったこの頃、小学生の頃に読んだ松本零士さんの『銀河鉄道999』のあるエピソードがふと頭によみがえりました。通常の冒険ものとはちょっと違う設定だったので記憶に残っています。それはこんな話です。

宇宙を旅する途中、銀河鉄道999号が原因不明で突然停車します。いくら待っても復旧しません。しばらくすると今度は、先頭の機関車だけが、客室車両だけを置いてどこかに行ってしまいます。何もない宇宙空間に置き去りにされてしまうのです。何時間たっても機関車は戻ってきません。あまりにも退屈な時間が続きます。普通だったら「なぜ？原因は？いつ復旧するの？」と焦るでしょう。しかし主人公「鉄郎」は動じません。車掌と競走したり本でドミノしたり。歌って、寝て、長い時間を過ごします。

結局列車は数日後に戻ってきて何事もなかったかのように出発します。実はこれは主人公の人間性や資質を試すテストだったのです。あせることもなく、イライラすることもなく、数十時間過ごせた主人公にテストを仕掛けた人たちのほうが驚く、という話でした。

限られた条件の中で、どのように過ごすか。今後、学校が再開したとしても例年と同じような教育活動が行えるのか、いつになったら通常通りに運営できるのか、見通しが立ちません。しかし、こんな状況だからこそあわてず、まずは健康・命を守り、できることから始めていきたいと思います。今後も急な変更やお願いをすることがあるかと思いますが、ご協力・ご支援のほどよろしくお願いいたします。